



ブランディングのカスタマイズ

- [ブランディングの概要 \(1 ページ\)](#)
- [ブランディングの前提条件 \(1 ページ\)](#)
- [ブランディングの有効化 \(1 ページ\)](#)
- [ブランディングの無効化 \(2 ページ\)](#)
- [ブランディング ファイルの要件 \(3 ページ\)](#)

ブランディングの概要

ブランディング機能を使用すると、IM and Presence サービスのカスタマイズされたブランディングを適用できます。ブランディングのカスタマイズは、Cisco Unified CM IM and Presence 管理のログインおよび設定ウィンドウに表示されます。追加または変更できる項目には次のものがあります。

- 企業ロゴ
- 背景色
- 枠線色
- フォントの色

ブランディングの前提条件

指定されたフォルダ構造とファイルを含むブランディング zip ファイルを作成する必要があります。詳細については、「[ブランディング ファイルの要件 \(3 ページ\)](#)」を参照してください。

ブランディングの有効化

IM and Presence サービスクラスタのブランディングのカスタマイズを有効にするには、次の手順を使用します。SAMLSSOが有効になっている場合でも、ブランディングの更新が表示されます。



(注) ブランディングを有効にするには、特権レベル4のアクセス権を持つプライマリ管理者アカウントを使用する必要があります。これは、インストール時に作成されるメインの管理者アカウントです。



(注) GUIとCLIのいずれか1つだけを使用して、ブランド化を有効にし、無効にするようにしてください。たとえば、GUIインターフェースを使用してブランド化を有効にする場合、GUIインターフェース自体を使用してブランド化を無効にする必要があります。そうしないと、正しく機能しません。

始める前に

IM and Presence サービスがアクセスできる場所に、IM およびプレゼンスのカスタマイズを使用してブランディングファイルを保存します。

手順

-
- Step 1** Cisco Unified IM and Presence OS の管理にログインします。
 - Step 2** [ソフトウェアアップグレード (Software Upgrades)] > [ブランディング (Branding)] を選択します。
 - Step 3** リモート サーバを参照し、branding.zip ファイルを選択します。
 - Step 4** [ファイルのアップロード (Upload File)] をクリックします。
 - Step 5** [ブランディングの有効化 (Enable Branding)] をクリックします。
 - (注) また、**utils branding enable CLI** コマンドを実行して、ブランディングを有効にすることもできます。
 - Step 6** 変更内容を表示するには、ブラウザを更新します。
 - Step 7** すべての IM and Presence サービスのクラスタ ノードでこの手順を繰り返します。
-

ブランディングの無効化

IM and Presence サービスクラスタのブランディングを無効にするには、次の手順を使用します。



(注) ブランディングを無効にするには、特権レベル4のアクセス権を持つマスター管理者アカウントを使用する必要があります。これは、インストール時に作成されるメインの管理者アカウントです。



(注) GUI と CLI のいずれか 1 つだけを使用して、ブランド化を有効にし、無効にするようにしてください。たとえば、GUI インターフェースを使用してブランド化を有効にする場合、GUI インターフェース自体を使用してブランド化を無効にする必要があります。そうしないと、正しく機能しません。

手順

- Step 1** Cisco Unified IM and Presence OS の管理にログインします。
- Step 2** [ソフトウェアアップグレード (Software Upgrades)] > [ブランディング (Branding)] を選択します。
- Step 3** [ブランディングの無効化 (Disable Branding)] をクリックします。
 (注) また、**utils branding disable** CLI コマンドを実行して、ブランディングを無効にすることもできます。
- Step 4** 変更内容を表示するには、ブラウザを更新します。
- Step 5** すべての IM and Presence サービスのクラスター ノードでこの手順を繰り返します。

ブランディング ファイルの要件

カスタマイズされたブランディングをシステムに適用する前に、仕様に従って Branding.zip ファイルを作成します。リモートサーバ上で、ブランディングフォルダを作成し、指定されたコンテンツをフォルダに入れます。すべてのイメージファイルとサブフォルダを追加したら、フォルダ全体を圧縮し、ファイルを branding.zip として保存します。

ヘッダーに勾配効果を作成するために、ヘッダーに単一のイメージを使用するか、または 6 つのイメージの組み合わせを使用するかに応じて、フォルダ構造に 2 つのオプションがあります。

表 1: フォルダ構造オプション

| ブランディング オプション | フォルダ構造 |
|---------------|---|
| 単一ヘッダーオプション | ヘッダーの背景 (吹き出し項目 3) に 1 つのイメージが必要な場合は、ブランディング フォルダに次のサブフォルダとイメージファイルが含まれている必要があります。 Branding (folder) cup (folder) BrandingProperties.properties (properties file) brandingHeader.gif (652*1 pixel) ciscoLogo12pxMargin.gif (44*44 pixel) |

| ブランディング オプション | フォルダ構造 |
|--------------------|---|
| グレーディング ヘッダー オプション | <p>ヘッダーの背景（吹き出し項目 3、4、5）に勾配イメージを作成する場合は、勾配効果を作成するために6つの個別のイメージファイルが必要です。ブランディングフォルダには、これらのサブフォルダとファイルが含まれている必要があります。</p> <pre> Branding (folder) cup (folder) BrandingProperties.properties (file) brandingHeaderBegLTR.gif (652*1 pixel image) brandingHeaderBegRTR.gif (652*1 pixel image) brandingHeaderEndLTR.gif (652*1 pixel image) brandingHeaderEndRTR.gif (652*1 pixel image) brandingHeaderMidLTR.gif (652*1 pixel image) brandingHeaderMidRTR.gif (652*1 pixel image) ciscoLogo12pxMargin.gif (44*44 pixel image) </pre> |

ユーザインターフェイスのブランディング オプション

次の画像に、[Cisco Unified CM IM and Presence Administration] ユーザ インターフェイスのブランディング オプションを示します。

図 1: 管理ログイン画面のブランディング オプション

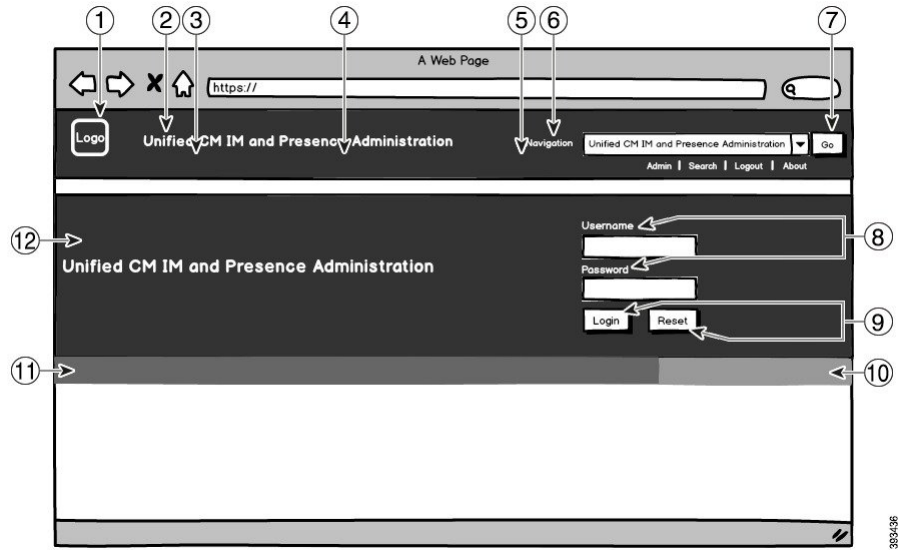
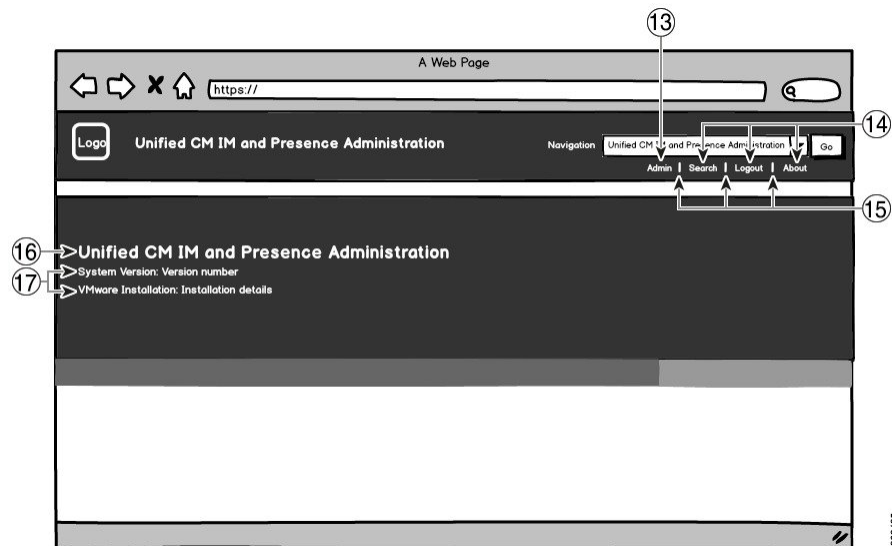


図 2: 管理ログイン中の画面のブランディングオプション



次の表では、上記のスクリーンキャプチャのコールアウト項目をカスタマイズする方法について説明します。

表 2: ユーザーインターフェイスのブランディングオプション

| 項目 | 説明 | ブランディングの編集 |
|-------------------|---|---|
| ログイン画面イメージ | | |
| 1 | 企業ロゴ (Company Logo) | IM and Presence サービス インターフェイスにロゴを追加するには、会社のロゴを次のファイル名で 44x44 ピクセル イメージとして保存します。 ciscoLogo12pxMargin.gif (44*44 ピクセル) |
| 2 | ヘッダーの Unified CM IM and Presence Administration のテキスト | header.heading.color |
| 3 | ヘッダーの背景 (採点オプション-左) | ヘッダーイメージに対して採点効果を適用する場合は、左側に次のイメージを使用します。 <ul style="list-style-type: none"> • brandingHeaderBegLTR.gif (652 x 1 ピクセル) • brandingHeaderBegLTR.gif (652 x 1 ピクセル) |

| 項目 | 説明 | ブランディングの編集 |
|------------------|-----------------------------------|---|
| 4 | ヘッダーバックグラウンド | <p>ヘッダーに単一のイメージを使用する場合は、次のようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • brandingHeaderMidLTR.gif (652 x 1 ピクセル) <p>それ以外の場合、採点効果があるヘッダーを作成する場合は、次の画像を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • brandingHeaderMidLTR.gif (652 x 1 ピクセル) • brandingHeaderMidRTR.gif (652 x 1 ピクセル) |
| 5 | ヘッダーの背景 (採点オプション-右) | <p>ヘッダーに対して採点効果を使用する場合は、次の画像を右側のヘッダーに使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • brandingHeaderEndLTR (652 x 1 ピクセル) • brandingHeaderEndRTR (652 x 1 ピクセル) |
| 6 | ナビゲーション テキスト | header.navigation.color |
| 7 | [移動 (Go)] ボタン | header.go.font.color header.go.background.color |
| 8 | ユーザ名およびパスワードのテキスト | splash.loginfield.color |
| 9 | ログインボタンとリセットボタン | splash.button.text.color splash.button.color |
| 10 | 背景下の色: 右側 | splash.hex.code.3 |
| 11 | 背景下の色: 左側 | splash.hex.code.2 |
| 12 | Banner | splash.hex.code.1 |
| ログイン後イメージ | | |
| 13 | ログインしているユーザテキスト (たとえば、「admin」ユーザ) | header.text.bold.color |
| 14 | 検索、情報、ログアウトリンク | header.link.color |

| 項目 | 説明 | ブランディングの編集 |
|----|--|-------------------------|
| 15 | リンク区切り線 | header.divider.color |
| 16 | バナーの Unified CM IM and Presence Administration のテキスト (ログイン後) | splash.login.text.color |
| 17 | システムのバージョンおよびVMware インストールのテキスト | splash.version.color |

ブランディング プロパティの編集例

ブランディング プロパティは、プロパティ ファイル (BrandingProperties.properties) に 16 進コードを追加することで編集できます。プロパティ ファイルは HTML ベースの 16 進コードを使用します。たとえば、ナビゲーションテキスト項目 (吹き出し項目 #6) の色を赤に変更する場合は、プロパティ ファイルに次のコードを追加します。

```
header.navigation.color="#FF0000"
```

このコードで、header.navigation.color は編集するブランディング プロパティで、"#FF0000" は新しい設定 (赤) です。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。